




No.2000デスクユニット 組立説明書

部品明細 (天板と脚の梱包には下記の通り部品が入っています。)

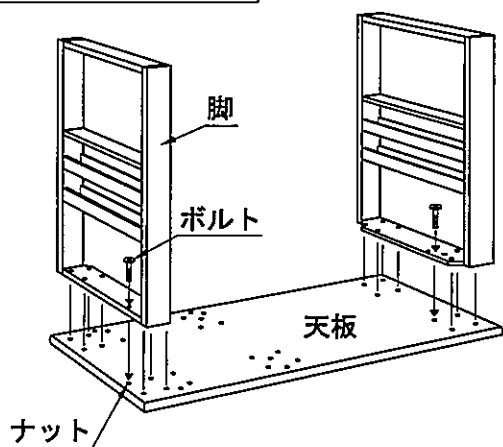
部 品	天板	脚/1
 ボルト	0	8
 六角レンチ	1	0
 クッション材	4	0

※注意

固定袖の組立は、固定袖に同梱の専用ボルトで組立てて下さい。

天板2枚をL型に組立てる場合は、別売のジョイントパーツが必要です。

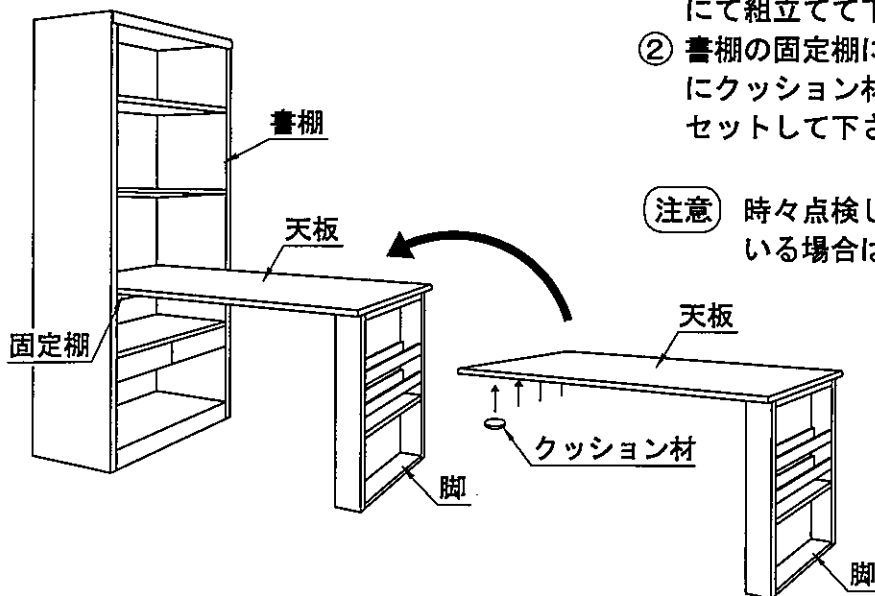
単独使用の組立方法



- ① 左図の様に、天板を布団等やわらかい物を敷いた床に、ナットが埋め込んである面を上にして置いて下さい。
- ② 天板と脚を、六角レンチを使用し左右それぞれ8ヶ所全てをボルトにて組立てて下さい。
(クッション材は書棚との組合せ時のみ使用します。)
- ③ デスクを起こして完成です。

注意 時々点検して、ボルトがゆるんでいる場合は絞め直して下さい。

書棚との組合せ方法



- ① **単独使用の組立方法** で片脚をボルトにて組立てて下さい。
- ② 書棚の固定棚に接するデスクの天板裏にクッション材を4ヶ所貼り付けてセットして下さい。

注意 時々点検して、ボルトがゆるんでいる場合は絞め直して下さい。

No.2000固定袖A 組立説明書

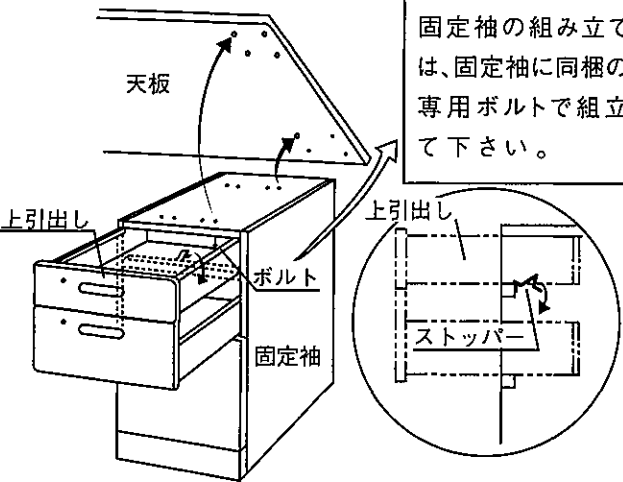
固定袖の組立方法

※注意

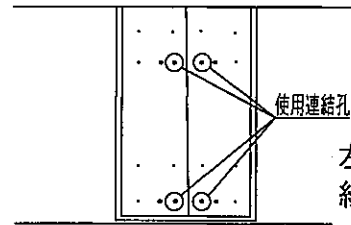
固定袖の組み立ては、固定袖に同梱の専用ボルトで組立て下さい。

左図の様に固定袖の上引出しを外し、ボルト2本にて天板と組立て下さい。

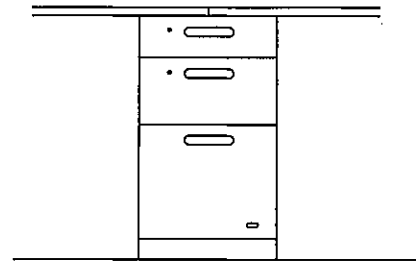
上引出しは、引出しの下よりストッパーを矢印方向に、倒しながら手前にひけば外れます。



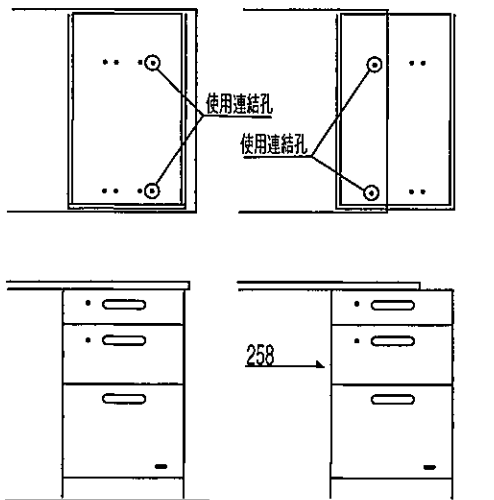
天板2枚の組立方法



左図の様にボルト4本にて組立て下さい。



デスク幅の伸縮方法



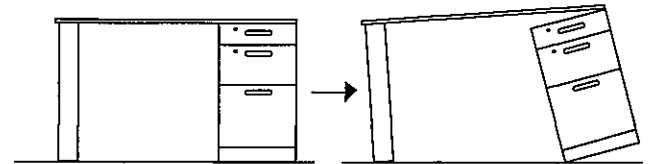
左図の様に、使用する連結孔を変えることで、デスク幅を広げることができます。

固定袖と天板の連結孔の組合せから最大258mmまで7段階広げることができます。

スペースと使い勝手に合わせて組立て下さい。

取扱注意事項

移動する際、固定袖を連結した状態で持ち上げたり、引きずったりすると破損しますので、注意して下さい。

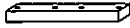




保証期間経過後の修理については、有償とさせていただきます。

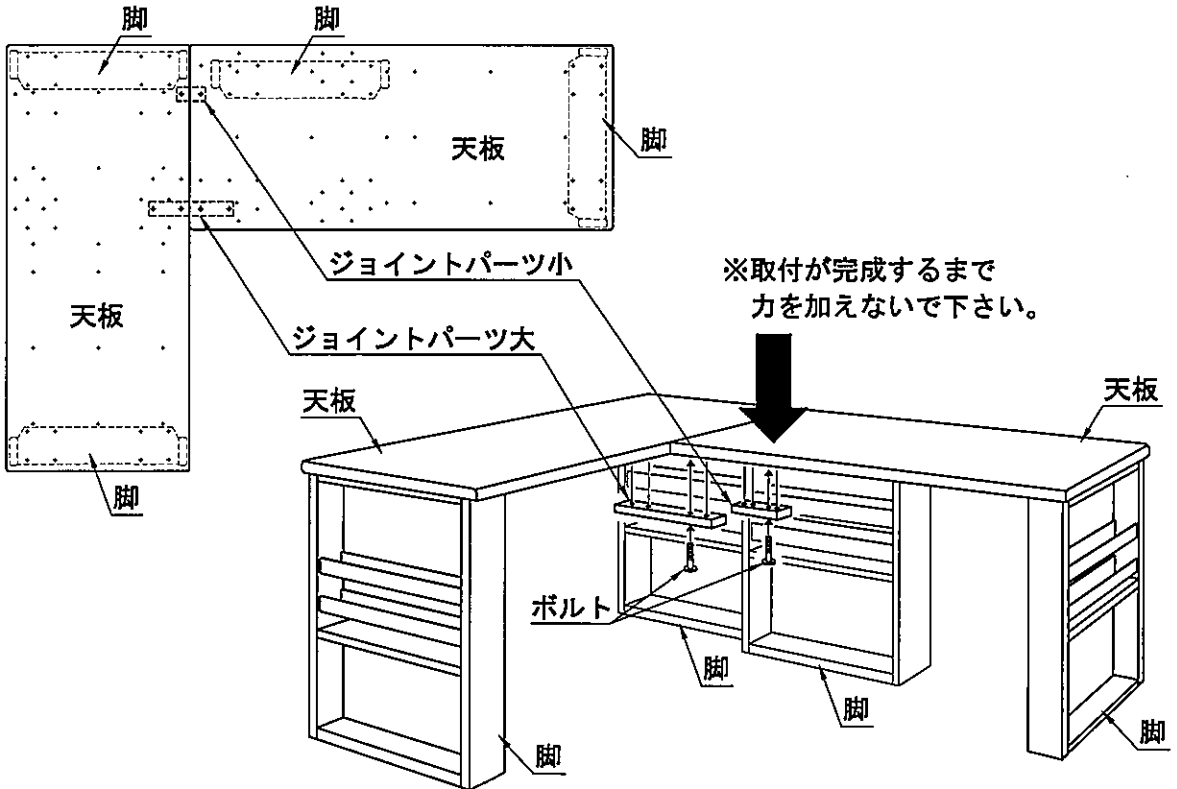
安本工業

ジョイントパーツ使用方法

部品明細

部品	数
 ジョイントパーツ大	1
 ジョイントパーツ小	1
 ボルト	6

脚の取付位置（上から見た図）※奥行65cmの天板同士を組み合わせた例



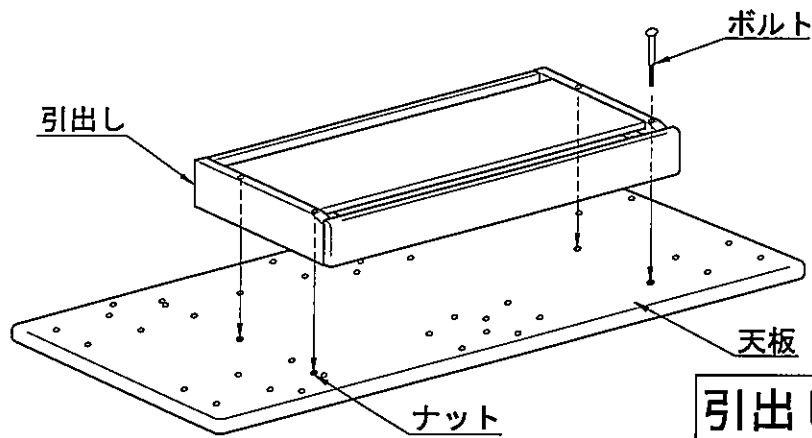
このジョイントパーツ大・小は、デスクユニットをL型に組む場合に使用します。

組立方法

- ① 脚を上図のように天板に取り付けて下さい。
- ② 上図のようにL型にセットして下さい。
※この時、上図の↓あたりに力を加えるとデスクが倒れて危険です。ジョイントパーツの取付が完成するまで力を加えないで下さい。
- ③ ジョイントパーツ大・小を上図のように天板の下からボルトにて取り付けて完成です。

注意 時々点検して、ボルトがゆるんでいる場合は絞め直して下さい。

組立説明書 引出し取付方法

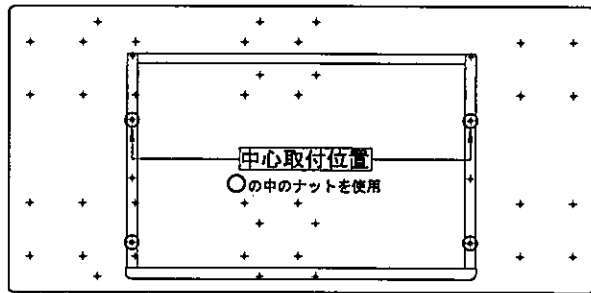


- ① 天板を布団等の柔らかい物を敷いた床に、ナットが埋め込んである面を上にして置いて下さい。
- ② 左図の様に、引出しを天板のナットに合わせてボルトを使用して⊕ドライバーにて締めて組み立てて下さい。

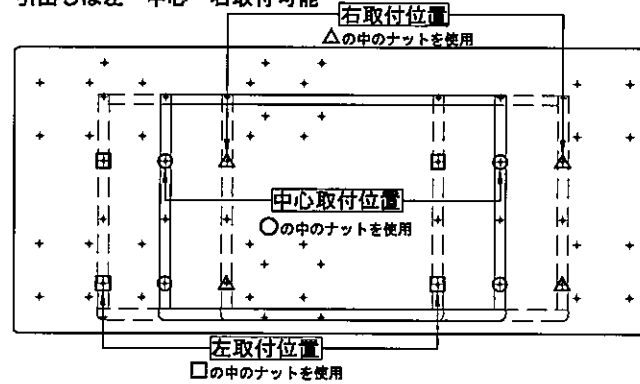
注意 時々点検して、ゆるみやガタツキがある場合は締め直して下さい。

引出し取付は下図のナット位置を参考にして下さい

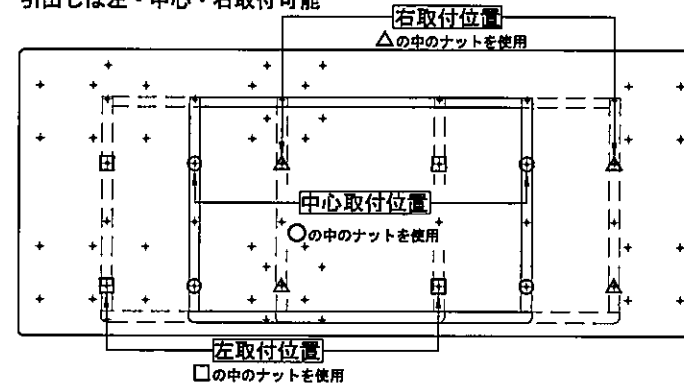
天板サイズ (110)
引出しは中心のみ取付可能



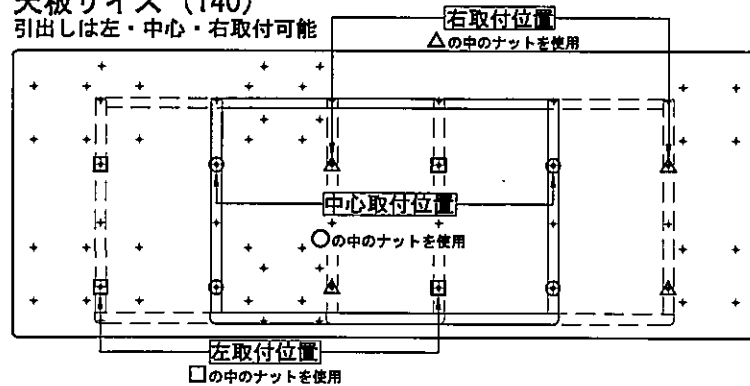
天板サイズ (120)
引出しは左・中心・右取付可能



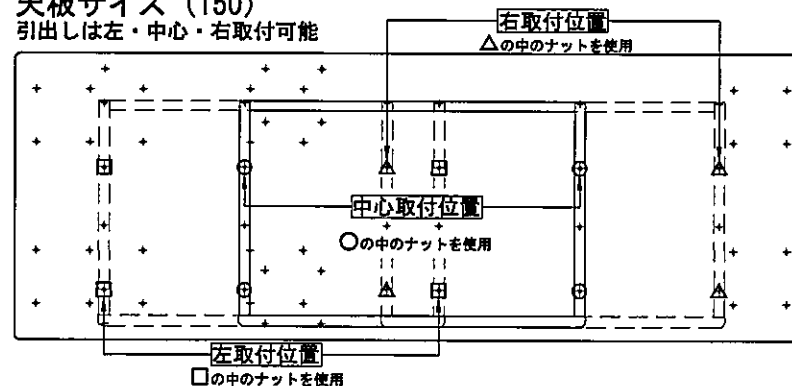
天板サイズ (130)
引出しは左・中心・右取付可能



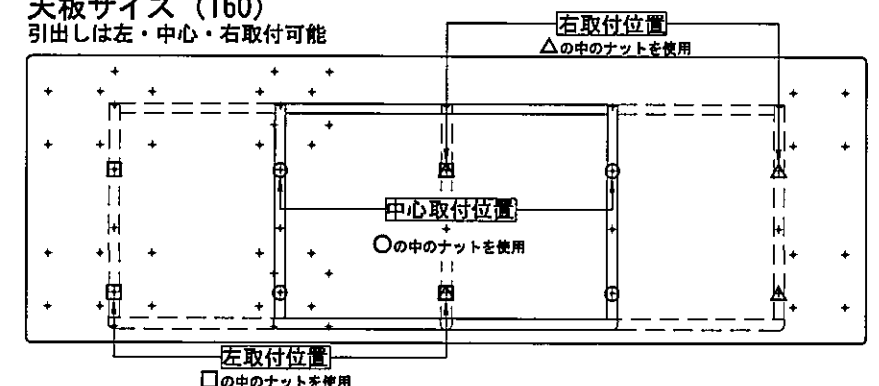
天板サイズ (140)
引出しは左・中心・右取付可能



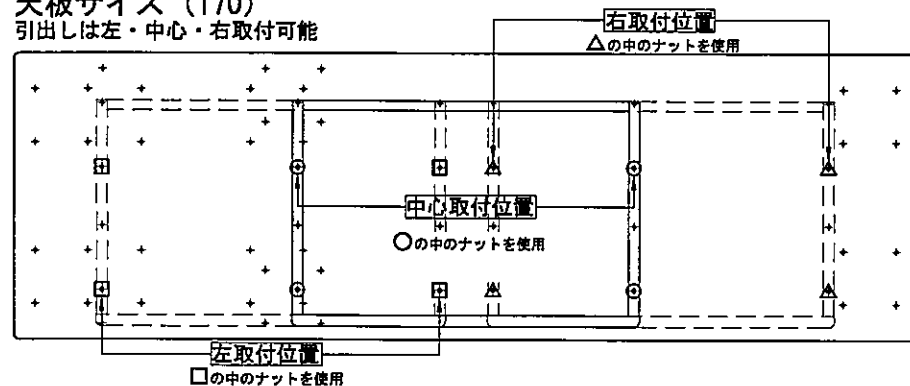
天板サイズ (150)
引出しは左・中心・右取付可能



天板サイズ (160)
引出しは左・中心・右取付可能



天板サイズ (170)
引出しは左・中心・右取付可能



天板サイズ (180)
引出しは左・中心・右取付可能

